

教育哲学研究

第 104 号

2011

特集 教育哲学と歴史（教育哲学における歴史研究の意味）

吉田熊次と〈現代〉教育学の誕生

——教育研究における哲学と歴史の位置づけをめぐる—— …………… 森田 尚人

教育と歴史の哲学に向けて

…………… 相馬 伸一

歴史の物語り論と教育哲学

…………… 西村 拓生

論文

前後期シュタイナーを貫く「世界自己」としての「私」という観点

——シュタイナーのシュティルナー解釈に見られる倫理観に着目して——

…………… 河野 桃子

言語ゲームへのイニシエーションとしての教育

——後期ウィトゲンシュタインにおける「訓練」の意義—— …………… 渡邊福太郎

他律による自律——レヴィナスにおける〈教え〉の概念をめぐる——

…………… 平石 晃樹

エッセイ

子どもの「成長」を導く教師の専門性

——教師の探求的コミュニケーション能力と学習活動の実験的構想力——

…………… 藤井 千春

教育哲学を考える

教育のアポリアを考える

…………… 渡邊 満

書評

青柳宏幸著『マルクスの教育思想』

…………… 白銀 夏樹

大西正倫著『表現的生命の教育哲学——木村素衛の教育思想——』

…………… 笹田 博通

松原岳行著『教育学におけるニーチェ受容史に関する研究

—— 1890-1920 年代のドイツにおけるニーチェ解釈の変容 —— 』

…………… 相澤 伸幸

山本孝司著『超越主義と教育——ブロンソン・オルコット思想研究序説——』

…………… 宮本健市郎

図書紹介

生田久美子、北村勝朗編著『わざ言語——感覚の共有を通しての「学び」へ——』

…………… 山本 正身

菱刈晃夫著『からだで感じるモラリティ——情念の教育思想史——』

…………… 山内 清郎

増渕幸男著『グローバル化時代の教育の選択——高等教育改革のゆくえ——』

…………… 虎岩 朋加

柳沼良太著『ポストモダンの自由管理教育

——スキゾ・キッズからマルチ・キッズへ——』

…………… 広石 英記

Cornelie Dietrich/ Hans-Rüdiger Müller (Hrsg.):
Die Aufgabe der Erinnerung in der Pädagogik.

……………山名 淳

欧文摘要

教育哲学会